

やさしい病害虫講座 2 農薬は安全か？

木村 裕

農薬と言えば恐ろしい物、毒の塊のように信じで疑わず、農薬を使わない有機農業や無農薬栽培が理想的であると思っておられる方が多いようですが。皆さん方はいかがですか？ 無農薬野菜、万歳！ ですか？

農薬とは、野菜や果樹など農作物を栽培する上で、その生育の足を引っ張る生き物の頭を叩いたり、取り除いたりするものと思ってください。

言い換えれば、農作物の葉や果実などに悪さをする害虫や病原菌を殺したり、発生を抑えたりする薬剤ですが、最近ではテントウムシや寄生蜂などもこの農薬の範ちゅうに含まれます。

皆さんが最も懸念するのはその毒性かと思えます。虫を殺すのだから人間にも何らかの悪影響があるはずと信じられています。

確かに農薬には毒性があります。この毒性の強弱によって、毒物、劇物、普通物と3つに分けられています。毒の強さはこの区分が一つ変わるごとに一桁異なります。仮に毒物が100の強さの毒性とすると、劇物は10の強さ、普通物は1の強さです。最も毒性の低い普通物と言ってもピンからキリまであり、劇物に近いものから限りなくゼロに近いものまであります。普段皆さんが食べている砂糖や塩でも毒性ゼロではないことを認識してください。

最も毒性が高いのは毒物で現在流通している農薬では日本にはありません。現在は大半の農薬が普通物で、一部が劇物です。スーパーや園芸店に置いてある農薬は全て普通物で劇物はありません。しかし、普通物＝無毒 ではありません。普通物であっても毒性はあることを忘れないようにしてください。

無農薬栽培を進めておられる方の中には、タバコの吸殻を集めてその汁を散布すれば安全と思っておられる方もおられます。これはとんでもない間違いで恐ろしいことです。タバコの吸殻にはニコチンが含まれており、その毒が虫を殺します。

それゆえ防除効果はあります。しかし、安全性の点ではバツです。この毒性は毒物に匹敵するほど高いものです。

また、樹木を蒸留して作られた木酢液を散布し、無農薬栽培だと威張っておられる方も見受けられますが、本当に安全でしょうか？ 木酢液の中には樹木の成分がいろいろ溶け込んでいます。この成分は本当に安全でしょうか？ この成分は木の種類、木の年齢、採取時期などによって変わってくると思いますが、残念ながらきちんと成分分析がなされ、安全だというお墨付きはまだありません。また、病気や害虫に対する抑制効果の試験データも残念ながらありません。それゆえ木酢液は安全性、防除効果がきちんと確認されていないので農薬ではありません。本人が自家菜園で納得して使っておられ限りでは問題はありますが、無農薬栽培農作物として市場に出荷されるのには抵抗があります。

この毒性の基準、判定は年々厳しくなっており、昔は使えたが現在は使えない農薬がたくさんあります。その典型がDDT、BHCでしょう。年配の方はご存知のことと思いますが、昔はノミ、シラミ退治に人体にも散布したことを記憶されていることでしょう。もちろん農作物にも広く使われました。しかし、研究が進みその毒性が問題となり、製造が禁止され今では何処にもありません。

どれが最も安全？ 安価？

